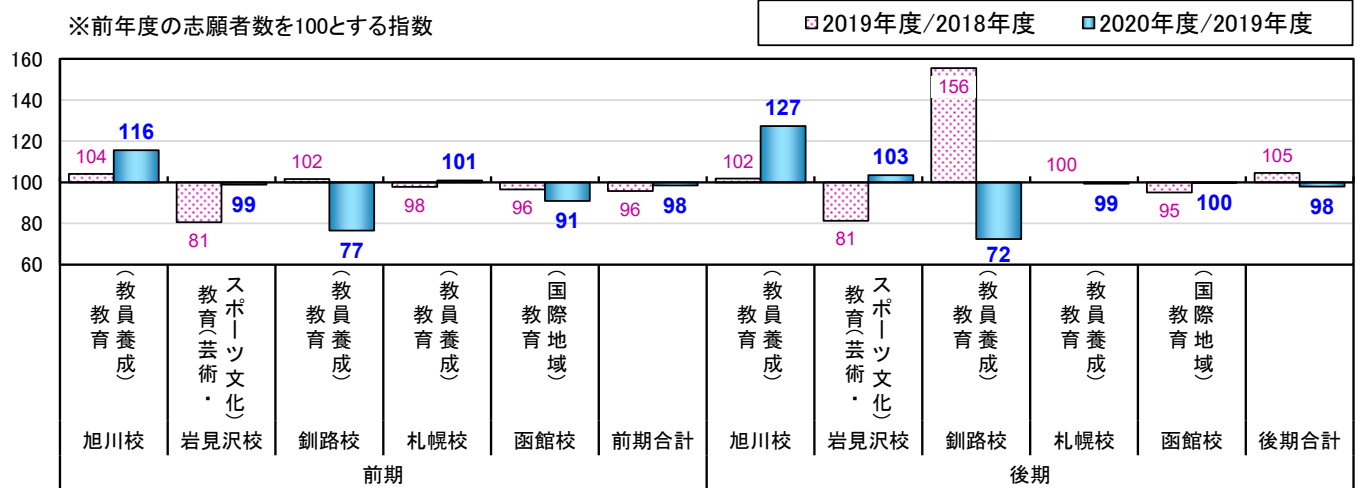


2020年度入試状況分析【国公立大】

北海道教育大：大学全体では前期・後期ともに微減

前期：-24人 後期：-41人



入試変更点 募集人員：岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化/スポーツ文化-スポーツ・コーチング科学<前>…18人→20人
 個別：岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化/スポーツ文化-スポーツ・コーチング科学<前>
 …面接<300点>+実技<500点>=総点<800点>→面接<200点>+実技<600点>=総点<800点>

COMMENT ※ () 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は24人(98)の微減だが、3年連続減少。修学校別では、旭川校(116)の大幅増加と釧路校(77)の大幅減少が目立った。後期は41人(98)の微減で、2年ぶりの減少。修学校別では、前期と同様に旭川校(127)の大幅増加と釧路校(72)の大幅減少が目立った。

＜前期日程＞

- 旭川校・教育(教員養成) (116)は、大幅増加で2年連続増加。専攻・分野別では、10専攻・分野中7専攻・分野が増加、特に(教員養成/芸術・保健体育-美術)(233)は2.3倍増、(教員養成/理科)(193)は倍増近い大幅増加だった。一方で、減少した3専攻・分野では(教員養成/社会科)(79)、(教員養成/芸術・保健体育-保健体育)(81)、(教員養成/生活・技術)(83)がいずれも20%前後の大幅減少。
- 岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化) (99)は、微減だが2年連続減少。専攻・コース別では、11専攻・コース中5専攻・コースが増加、特に(芸術・スポーツ文化/音楽文化-声楽)(140)、(芸術・スポーツ文化/美術文化-美術文化教育)(138)はいずれも約40%の大幅増加、一方で、(芸術・スポーツ文化/音楽文化-音楽教育・音楽文化)(33)は3分の1の激減。
- 釧路校・教育(教員養成) (77)は、大幅減少で3年ぶりに減少。志願者数は150人を下回った。
- 札幌校・教育(教員養成) (101)は、3年連続前年度並で、志願者数は4年連続350人前後と変化は少ない。専攻・分野別では、9専攻・分野中2専攻・分野だけが増加で、(教員養成/芸術・体育-保健体育)(170)、(教員養成/言語・社会)(117)はいずれも大幅増加。一方で、減少した6専攻・分野では(教員養成/養護)(71)が2年連続大幅減少。
- 函館校・教育(国際地域) (91)は、3年連続減少。専攻・グループ別では、(国際地域/地域協働-地域政策)(133)、(国際地域/地域協働-国際協働)(115)が大幅増加、一方で、(国際地域/地域教育)(55)、(国際地域/地域協働-地域環境科学)(80)は大幅減少と対照的。

＜後期日程＞

- 旭川校・教育(教員養成) (127)は、大幅増加で3年連続増加。専攻別では、後期募集を行う7専攻中4専攻がいずれも大幅増加、特に(教員養成/理科)(211)は倍増以上。一方で、減少した3専攻では(教員養成/社会科)(75)、(教員養成/英語)(79)が大幅減少。
- 岩見沢校・教育(芸術・スポーツ文化) (103)は、やや増加。2016年度以降、前年度の反動による増減が継続。専攻・コース別では、8専攻・コース中で増減が4専攻・コースずつに分かれた。特に(芸術・スポーツ文化/美術文化-美術文化教育)(171)は70%を超える大幅増加、一方で(芸術・スポーツ文化/美術文化-メディア・タイムアート)(64)は大幅減少
- 釧路校・教育(教員養成) (72)は、改組初年度だった前年度の大幅増加の反動で、大幅減少。
- 札幌校・教育(教員養成) (99)は、2年連続前年度並で、志願者数は3年連続280人余りと変化は少ない。専攻別では、後期募集を行う6専攻で3専攻ずつに増減が分かれた。(教員養成/特別支援)(129)が大幅増加、(教員養成/理数教育)(112)は増加。一方で、(教員養成/学校教育)(68)は大幅減少。
- 函館校・教育(国際地域) (100)は、1人のみの減少だが3年連続減少。専攻・グループ別では、4専攻・グループ中で増減が2専攻・グループずつに分かれた。特に、(国際地域/地域協働-地域政策)(113)の増加、(国際地域/地域教育)(75)の大幅減少が目立った。